

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375300262
事業所名	グループホームはなえくぼ扶桑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 今年度は利用者の入れ替わりで、利用者の要介護度が下がり、ホーム全体が元気になった感がある。地域行事にも地域の一人として積極的に参加し、良い関係が出来始めている。日常的な交流の機会は多く、散歩時には声を掛け合う間柄である。近所からの到来物も多く、うれしいお付き合いの継続がある。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年6回の会議を開催し、毎回10名程の参加が得られ、活発な意見交換の場として活用している。行政担当者、地域包括支援センター、民生委員、地域住民代表等、地域の関係者が集い、ホームの困りごとや相談事に意見や提案をもらっている。また、地域の行事等の情報を収集し、会議での話し合いをきっかけに参加が出来るようになった事例も多い。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 行政担当者、地域包括支援センターの運営推進会議参加が得られ、ホームの実状を理解してもらい、空き室状況や運営報告等を通じ、連携を図っている。利用者紹介も得られており、適切な連携がうかがえる。町や地域包括支援センター主催の研修会・勉強会には積極的に参加し、情報の共有を図っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 運営推進会議、家族会、行事参加時等、他者と交流する機会に意見表出が出来ている。また、個別には面会時や電話連絡で個別に意見聴取を行っている。家族との信頼関係は厚く、直接のやり取りで、意見や提案、意向や希望の聴き取りが可能となっており、迅速な対応、実現につながっている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎			